

区分	No.	科目名	配当年次	担当者名	専任・非常勤の別	単位数			授業内容
						全学共通	学部共通	専門	
共通科目	1	心の科学Ⅰ	1	野副紫をん	専任	2			公認心理師及び臨床心理士の資格を有し心理治療の経験を持つ教員が、授業の中で一般的によく見られる精神疾患やセルフモニタリング等、学生の心身健康に関する知識や対処法を教授し、学生のメンタルヘルスの維持増進に寄与する。
	2	心の科学Ⅱ	1	野副紫をん	専任	2			公認心理師及び臨床心理士の資格を有し心理治療の経験を持つ教員が、授業の中で一般的によく見られる精神疾患やストレスマネジメント等、学生の心身健康に関する知識や対処法を教授し、学生のメンタルヘルスの維持増進に寄与する。
	3	日本の文化と社会	1	四辻秀紀	専任	2			この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、日本の歴史の中で培われてきた文化諸相を通覧し、内在する伝統と変遷を探究する「実務経験のある教員による授業科目」である。
	4	情報と社会行動の科学	1	大谷 尚	専任	2			・2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校長としての実務経験を、本授業の学校教育に関する内容に反映させる。
	5	全学ゼミナール	1	中津将樹	専任	2			政府機関、民間団体の職員として、日本国内、米国、マレーシア、タイ、インドネシアで国際交流や国際開発協力のプロジェクトに従事した経験のある教員が、さまざまな関連する事例をもとに海外で発生している問題を説明、解説します。
	6	体験型プロジェクト(XE)犬山学/徳川美術館	1	四辻秀紀	専任	4			この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、地元の歴史・文化に関心を寄せ、古典や歴史に対する知識と理解度を高める「実務経験のある教員による授業科目」である。
	7	日本事情Ⅴ	1	四辻秀紀	専任		2		この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、日本の代表的な伝統芸能を取り上げ、これらによって育まれた文化形態の理解を深める「実務経験のある教員による授業科目」である。
専門科目	8	市民生活と法	1	濱口弘太郎	専任			2	司法修習生として裁判所・検察庁・弁護士事務所の経験のある教員が、法曹有資格者の立場から、身近な法律問題について解説を行い、実践的な解決を視野に入れつつ、法学の入門的な事項について教授を行う科目です。
	9	裁判と法	2	遠山圭一	専任			2	・担当教員のうち、遠山圭一が弁護士として、民事事件刑事事件などの実務に携わっている教員である。その実務経験を活かして、実務的な観点から、裁判手続の仕組みや法律の構造などについて解説する科目である。
	10	財政学	2	齋藤 敦	専任			2	国の予算編成の過程における実務上やあるいは政治過程などを通じる特徴などについて、また、それぞれの主要な経費の特性などに応じた特徴的な事柄などについて、できるだけ触れることに努めます。
	11	GIS概論	2	佐藤正之	専任			2	シンクタンクおよびNPOでの業務経験のある教員が、民間から公共まで様々な業務で使われているGISを理解するために、実際にGISソフトウェアの使用方法を学びながら、地域分析を行うことで、GISの技術と概念を習得する演習科目である。
	12	金融論	3	羽田徹也	専任			2	日米金融機関において、為替ディーラー、債券トレーダー、金融市場のストラテジストを経験した教員が、金融経済に関する理論と金融実務現場の関連性を、大学院での研究活動およびビジネス現場経験を踏まえて解説する科目である。
	13	社会政策と社会保障	3	木村牧郎	専任			2	NPO職員として精神障害者の生活支援に携わった経験から、実際の障害者が暮らしと就労を両立させるためにどのような課題に直面しているかを解説する。
	14	国際金融論	3	羽田徹也	専任			2	日米金融機関において、為替ディーラー、債券トレーダー、金融市場のストラテジストを経験した教員が、金融経済に関する理論と金融実務現場の関連性を、大学院での研究活動およびビジネス現場経験を踏まえて解説する科目である。
	15	地域経済論	3	加藤秋人	専任			2	シンクタンクでの業務経験のある教員が、産業を中心とした地域経済を取り巻く環境や、産業育成に関する学術的な解説を行うほか、国内において教員が実際に携わった地域経済・地域産業活性化に関する実践を紹介する。
	16	地域政策	3	村山 徹	専任			2	市役所設置の自治体シンクタンクでの実務経験を有する教員が、行政の実践を紹介しながら地域課題の解決について解説する科目である。
	17	東海地方の産業	3	村山 徹	専任			2	市役所設置の自治体シンクタンクでの実務経験を有する教員が、日本や東海地方の地域産業の歴史や学術的背景の解説にくわえて、行政による産業振興の実践についても紹介する科目である。
	18	商業簿記	1	荒鹿善之	専任			2	日商簿記検定試験委員の担当経験がある教員によって行われる授業です。
	19	原価計算論	2	荒鹿善之	専任			2	日商簿記検定試験委員の担当経験がある教員によって行われる授業です。
	20	簿記Ⅰ(株式会社会計)	2	中村壽男	専任			2	簿記検定試験委員として培った経験より、大学で学ぶ簿記の学習成果を確認するため、日本商工会議所簿記検定試験へのチャレンジを奨励している。
	21	簿記Ⅱ(製造業会計)	2	中村壽男	専任			2	簿記検定試験委員として培った経験より、大学で学ぶ簿記の学習成果を確認するため、日本商工会議所簿記検定試験へのチャレンジを奨励している。
	22	経営学	3	松井 義司	専任			4	教員は電機メーカーに勤務し、中東・ロシア・インドに駐在するなど、主に新興国の市場開発に従事して来た。実務と理論の両方の視点から、学生と企業活動について考えて行きたい。
	23	情報システムの理論と実際	3	小川哲司	専任			2	情報通信業界にて情報システムの開発経験を有する教員が、情報システムの特性や開発手法について実践的な観点より解説する科目である。
	24	経営情報論	3	小川哲司	専任			2	情報通信業界にて新規サービスの立ち上げやマーケティングの業務経験を有する教員が、経営と情報の関わりについて実践的な観点より解説する科目である。
	25	生活経営論	3	中村壽男	専任			2	金融広報アドバイザー(愛知県)として働く世代やシニア世代へ「お金」に関する話題を提供してきた経験を活かし、ライフステージ別の生活設計、暮らしにかかる税金などを解説する。
26	情報と法	3	萩原聡央	専任			2	自治体の情報公開・個人情報保護審査会委員の経験を持つ教員が、情報の自由な流れの保障と情報の保護のバランスが必要であるとの視点から、行政やメディアを含む企業等における情報の取扱いをめぐる課題を解説する。	
演習	27	基礎演習ⅡA	2	岡田 和明	専任			2	長年の地方公務員経験がある教員が、自治体の現状や抱える課題の解決に向けた施策を解説し、自分たちのまちづくりや地域再生に向けた手段・方法を考える科目。
	28	基礎演習ⅡB	2	岡田 和明	専任			2	長年の地方公務員経験がある教員が、自治体の現状や抱える課題の解決に向けた施策を解説し、自分たちのまちづくりや地域再生に向けた手段・方法を考える科目。
合計						14	2	44	